

みんなで「地域の公園づくり」を考えませんか

市では、小学校区内に複数ある身近な公園の再整備を、地域の皆さんとワークショップ（検討会）形式で議論を重ねながら行っています。まちづくり協議会などを中心とする地域住民と協働で開催し、公園設計の専門業者と再整備計画案を作ります。

事業の実績と地域住民の声

令和2年度までに39校区でワークショップを行いました。自然を生かした設計、災害避難地や体力づくりの場としての役割、草刈りの負担軽減など、さまざまな観点から地域の公園を考えるよい機会となり、多くの人に親しまれる公園に生まれ変わっています。

整備後のアンケート調査では、「公園利用が増えた」「地域のニーズに合致した」など約7割から好評を得ています。

ワークショップの流れ

第1回ワークショップ

- 現状確認
- 整備対象とする公園選定
- 公園の整備方針の決定

小学生アンケート

第2回ワークショップ

- 公園の現地見学
- 具体的な整備内容の検討

第3～4回ワークショップ

- 整備計画案作り
- みんなで意見を出し合い計画を一つにまとめる

報告会

- 対象公園の再整備計画を発表

整備工事を行います

再整備計画案をもとに翌年から2～3年程度で公園の整備を行います。

利用しやすく、まちのイメージに貢献する公園の完成！

〈整備事例〉

小倉北区東篠崎ふれあい公園



ワークショップの参加者を募集

ワークショップを市と協働で開催し、公園づくりを考えてみませんか。对各小学校区の自治会やまちづくり協議会、PTAなど地域の公園づくりに興味のある団体（事業実施済校区は対象外）。**申**10月29日まで。詳しくは建設局みどり・公園整備課 ☎582・2460へ。